

# 平成 29 年度「命と生活を守る新国土づくり研究会」を開催 ～防災意識社会への転換に向けて国へ提言～

河川課

本研究会は、洪水、土砂災害等から人命、財産を守り、安全で安心して暮らせる国土をつくること等を目的として、10 府県の知事により平成 6 年に発足した組織で、現在は本県を含め、11 県の知事により構成されています。

(構成県) 岩手県、宮城県、埼玉県、富山県、福井県、岐阜県、兵庫県、島根県、徳島県、長崎県、鹿児島県

今年で 21 回目となる本研究会は、「防災意識社会への転換に向けて～大規模自然災害から命と生活を守るために～」を研究テーマとし、牧野国土交通副大臣を迎え開催されました。

研究会の冒頭では、飯泉徳島県知事及び達増岩手県知事から、牧野副大臣及び秋本政務官へ、「防災意識社会への転換に向け、水害や土砂災害などの予防対策に必要な予算確保」などの 9 つの要望項目をとりまとめた提言書を手交しました。



国土交通副大臣へ提言書の手交

(提言書抜粋)

- 一 再度災害防止や予防的な治水対策としての適切な河道管理のため、治水上著しく支障となる土砂・流木の除去や伐木に対して、財政面で積極的に支援すること。

続く意見発表では、達増知事から、昨年 8 月の台風第 10 号災害を踏まえた、本県の治水対策や土砂災害対策の現状及び課題の紹介、これらに必要な予算の確保や制度拡充に関する国への要望について発言しました。

また、その後の自由討論では、「中小河川の氾濫による災害は、ますます気をつけなければならないという中で、河道掘削や立ち木伐採などの河道の維持管理への国の財政支援がより差し迫った課題になっている。」との発言も行いました。



達増知事による意見発表

## 【開催概要】

- 開催日時 平成 29 年 11 月 9 日 (木) 12:00～12:45
- 研究テーマ 防災意識社会への転換に向けて  
～大規模自然災害から命と生活を守るために～
- 出席者
  - 国土交通省 牧野国土交通副大臣、秋本国土交通大臣政務官、吉田国土交通審議官、山田水管理・国土保全局長等
  - 構成県 徳島県 飯泉知事 (会長)、岩手県 達増知事 (副会長)、富山県 山崎副知事、福井県 山田副知事、兵庫県 荒木副知事